

いい出会い 地域に根ざす 本郷法人会



『明月堂』パン

明治25年創業の老舗のパン屋。昔ながらの素朴な味が好評で、中でも懐かしいのが甘食。黒パンやタマゴパンもある。

文京区本郷 4-37-14 ☎3811-5539

営業時間：8：30～19：00

休 店 日：日・土・祝（土曜は不定休）

『シンスケ』居酒屋

大正14年創業、派手さはないが、酒・肴・雰囲気とも上質の、文京区を代表する居酒屋。太田和彦氏らの本でも有名。

文京区湯島 3-31-5 湯島3315ビル1・2F ☎3832-0469

営業時間：17：00～21：30（土曜日は21：00まで）

休 店 日：日・祝



CONTENTS

平成24年度税制改正大綱	2～3
税務署だより	4
都税事務所だより	5
青年部会が租税教室を実施	6
経営者の声「法人会会員アンケート調査結果」	
12月の景況感	7～8
平成23年度会員増強運動を終了して	8
〈組織委員長 加藤高身〉	
法人会の活動	9
失敗する投資、成功する投資の分かれ目は	10～11
〈経済評論家・作家 荒 和雄〉	

イラスト：ふるさと画家 上野啓太

引 用：「食の文京ブランド100選 おいしゅうございまっぴ」より

※「食の文京ブランド100選」とは、区内商工団体が中心となって食生活ジャーナリストの岸朝子氏を委員長に「食の文京ブランド選考委員会」を設置。文京区内の優良な飲食店やお土産品店100店を推奨し、区内の地域活性化を図ることを目的としている。

NO. 443

平成24年3月号

平成
24年度

税制改正大綱

自動車重量税の軽減、エコカー減税の延長など盛り込まれる!!

政府は昨年12月10日、平成24年度税制改正大綱を閣議決定しました。

大綱では、自動車重量税の軽減、エコカー減税の延長などが盛り込まれているほか、平成23年度税制改正で積み残しとなった給与所得控除の上限設定や地球温暖化対策のための税の創設なども含まれています。主な内容をお知らせします。

なお、大綱に先立ち、昨年11月30日、東日本大震災の復興財源を賄う復興財源法が国会で可決・成立しました。

税関連部分についてあわせてお知らせします。



法人課税

■中小企業税制

- ・中小企業投資促進税制の対象資産に試験機器等が追加され、適用期限を2年延長
- ・交際費の損金算入特例措置の適用期限を2年延長
- ・小額減価償却資産の取得価額の損金算入特例措置の適用期限を2年延長

※平成24年4月1日から平成26年3月31日までの時限措置

■研究開発税制

試験研究費の上乗せ特例措置の適用期限を2年延長

※平成24年4月1日から平成26年3月31日までの時限措置

■環境関連投資促進税制

平成23年度税制改正で創設された環境関連投資促進税制が拡充され、太陽光パネルや風力発電設備に係る即時償却制度を創設

※平成24年4月1日から平成25年3月31日までの間に当該設備の取得等をし事業の用に供した場合の時限措置

※平成25年分以後の所得税及び平成26年度分以後の個人住民税に適用

■特定支出控除

範囲を拡大し、弁護士、公認会計士、税理士などの資格取得費、勤務必要経費(図書費、衣服費、交通費)を追加。その他、適用判定基準を見直し

※平成25年分以後の所得税及び平成26年度分以後の個人住民税に適用

■退職所得課税

勤続年数5年以下の法人役員等の退職金の2分の1課税を廃止

※平成25年分以後の所得税に適用。個人住民税は平成25年1月1日以後に支払われるべき退職手当等に適用

個人所得課税

■給与所得控除

給与収入1,500万円超は一律245万円とする上限を設定

資産課税

■住宅取得等資金の贈与税

親族からの住宅取得等資金に係る贈与税の非課税措置を拡充・延長

	平成24年	平成25年	平成26年
特別枠 (省エネ・耐震住宅)	1,500万円	1,200万円	1,000万円
一般枠	1,000万円	700万円	500万円

※平成24年1月1日以後に贈与により取得する住宅取得等資金の贈与税に適用

■相続税の連帯責任

一定条件を満たせば相続税の連帯納付義務を緩和

※平成24年4月1日以後に申告期限等が到来するものに適用。ただし、同日において滞納となっている相続税についても同様扱い

■国外財産調書

5,000万円超の国外財産を保有する個人に対し、その保有する国外財産に係る調書の提出を求める制度を創設

※平成26年1月1日以後に提出すべき国外財産調書に適用

環境関連税制

■自動車重量税

自家用自動車の場合、燃費基準達成車は0.5トンあたり2,500円、未達成車は同900円を減税

※平成24年5月1日以降適用

■自動車取得税

いわゆる「エコカー減税」について燃費基準を切り替えたうえ3年延長

※平成24年4月1日から平成27年3月31日までの間に取得した場合の時限措置

■地球温暖化対策のための税

全化石燃料を課税ベースとする石油石炭税に、CO₂排出量に応じ上乗せする形で創設

※平成24年10月1日施行。平成28年3月31日までの間、税率の経過措置あり

固定資産税

■住宅用地の課税標準の特例措置

段階的に縮小し平成26年度に廃止



～復興財源～

復興特別法人税

■実効税率5%引き下げと法人税額1割上乗せをセット

※平成24年4月から3年間(増収見込額年8,000億円)
(※実効税率=法人税・法人住民税・法人事業税を合わせたもの。東京都の場合、現在40.69%。平成24～26年度は38.01%、27年度以降は35.64%になる)

復興特別所得税

■所得税額に2.1%分を上乗せ

※平成25年1月から25年間(増収見込額年3,000億円)

個人住民税

■「均等割」分を年4,000円(標準税額の場合)から5,000円に1,000円引き上げ

※平成26年6月から10年間(増収見込額10年で6,000億円)

■退職金にかかる10%税額控除措置を廃止

※平成25年1月から10年間(増収見込額10年で1,700億円)



☆記事内容についての問い合わせは…

四方(よも)税理士事務所 TEL 03-5802-3050

平成 24 年度 国税 専門官 募集

国税専門官とは、国税局や税務署において、税務のスペシャリストとして法律・経済・会計等の専門知識を駆使し、適正・公平な課税を実現し、租税収入を確保するための事務を行います。

- ◇ 受 験 資 格
- 1 昭和 57 年 4 月 2 日から平成 3 年 4 月 1 日生まれの者
 - 2 平成 3 年 4 月 2 日以降生まれの者で次に掲げるもの
 - イ 大学を卒業した者及び平成 25 年 3 月までに大学を卒業する見込みの者
 - ロ 人事院がイに掲げる者と同等の資格があると認める者
- ◇ 申 込 手 続
- 1 インターネット申込み (原則、インターネット申込みとなります。)
 - (1) 受付期間
4 月 2 日 (月) 9 時 ~ 4 月 12 日 (木) [受信有効]
 - (2) 受験案内 (インターネット申込用) 交付期間
2 月 1 日 (水) ~ 4 月 12 日 (木)
 - (3) 受験案内 (インターネット申込用) 交付場所
東京国税局又は最寄りの税務署若しくは人事院各地方事務局 (所)
※ 人事院ホームページからもダウンロードすることができます。
[<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>]
 - 2 インターネット申込みができない場合 (受験申込書を郵送又は持参)
 - (1) 受付期間
4 月 2 日 (月) ~ 4 月 3 日 (火) [4 月 3 日 (火) の通信日付印有効]
 - (2) 受験申込書・受験案内 (郵送・持参申込用) 交付期間
2 月 1 日 (水) ~ 4 月 3 日 (火)
 - (3) 受験申込書・受験案内 (郵送・持参申込用) 交付場所
東京国税局又は最寄りの税務署若しくは人事院各地方事務局 (所)
- ◇ 試 験 日
- 第 1 次試験 6 月 10 日 (日)
第 2 次試験 7 月 17 日 (火) ~ 7 月 24 日 (火) のうち指定された日時

※ 詳細については、お気軽に本郷税務署総務課 (Tel 03-3811-3171 内線 312) までお尋ねください。

都税事務所だより

4月から

固定資産税にかかる土地・家屋の価格などがご覧になれます(23区内)

- ◆ 縦覧期間 平成24年4月2日(月)から7月2日(月)まで(土・日・休日を除く)
- ◆ 縦覧時間 午前9時から午後5時まで
- ◆ 縦覧場所 土地・家屋が所在する区にある都税事務所

平成24年度は、土地及び家屋の評価替えに伴い、評価額が変更されます。

<縦覧できる方>

当該区内に土地・家屋を所有する納税者の方

<縦覧できる内容>

当該区内で課税されている土地・家屋の価格など(縦覧帳簿)

(注) 納税通知書は6月1日(金)に発送予定です。



東京都主税局では、本人へのなりすましなどにより、不正な目的で公簿の閲覧及び証明の申請を行うことを防止し、納税者の皆様の個人情報保護を図るために、縦覧時の「本人確認等」を厳格に行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。土地・家屋が所在する区にある都税事務所にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 文京都税事務所 固定資産税課 固定資産税係
電話(3812)3241 内線311~314

本郷税務署での法人事業税・都民税申告書の平成24年度の受付について

平成20年4月1日の法人二税ブロック化(千代田・文京)に伴い、ブロック所の千代田都税事務所職員が本郷税務署に出張して法人事業税・都民税申告書を受け付けております。平成23年度の実施内容等は次のとおりです。円滑な実施に向けて、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

◆実施場所

本郷税務署庁舎の2階ロビー受付窓口(所得税確定申告時期等において場所が変更になる場合があります。)

◆平成24年度の各月の実施日・時間

4月申告分	5月申告分	6月申告分	7月申告分	8月申告分	9月申告分	10月申告分	11月申告分	12月	1月申告分	2月申告分	3月申告分
5/1(火)	5/31(木)	7/2(月)	7/31(火)	8/31(金)	10/1(月)	10/31(水)	11/30(金)		1/31(木)	2/28(木)	4/1(月)

(注) 12月は実施いたしません。午前9時30分から午後4時30分まで(昼休時間12時~1時は除きます。)

◆受付対象

原則、法人事業税・地方法人特別税・法人都民税の申告書、法人設立・設置・異動届出書

(千代田ブロック所所管分に限りません。)

◆留意事項

- (1) 申告書の付属明細書等への受付印の押印、申告指導、証明、用紙類の交付は行いません。
- (2) 税務署の時間外文書収受箱へ投函された地方税申告書及び税務署へ郵送された地方税申告書は受付できません。

★お問い合わせ

千代田都税事務所 法人事業税課 法人事業税第二係 TEL(3252)7141 内線282~285

便利な電子申告・電子納税等もご利用ください!

【eLTAX ホームページ】 <http://www.eltax.jp/>

エルタックス

検索



【eLTAX ヘルプデスク】 0570-081459 (IP電話・PHSをご利用の場合: 03-5765-7234)

月~金 午前8時30分~午後9時(土・日・祝祭日、年末年始12/29~1/3は除く)

<申告内容や審査・納税についてのお問い合わせ> 千代田都税事務所 電話03(3252)7141(代表)

青年部会が租税教室を実施 講師育成講座の成果を発揮する

青年部会（田中部会長）が小学校での租税教室を下記のような計画でそれぞれ実施した。部会では毎回租税教室に向け役員が講師育成講座を開き模擬練習してきたもので、今回は内容等を見直した租税教室を試みた。

なお、当日は手作りの1,000円紙幣や50円硬貨・税金の種類を記載した貯金箱などを作製して児童に配り実際に消費税についての勉強や税金クイズ・1億円のレプリカなどに触れてもらう楽しく学ぶ租税教室となった。



根津小学校で1月13日（講師 富永、塙、山田）



湯島小学校で1月20日（講師 田中、吉田）



湯島小学校で1月20日（講師 吉田、田中）



本郷小学校で1月27日（講師 佐藤、山田）



開催小学校	日時	講師（敬称略）
文京区立 根津小学校	平成 24 年 1 月 13 日（金）	塙英幸・富永光孝 山田順一郎
文京区立 湯島小学校	平成 24 年 1 月 20 日（金）	田中元浩・吉田宗之
文京区立 本郷小学校	平成 24 年 1 月 27 日（金）	佐藤潤一・山田順一郎
文京区立 駕籠町小学校	平成 24 年 2 月 10 日（金）	田中元浩・阪田大樹
文京区立 誠之小学校	平成 24 年 2 月 17 日（金）	塙英幸・吉田宗之・細田洋平 山元顯太郎・山田順一郎・ 伊東大輔
文京区立 駒本小学校	平成 24 年 2 月 20 日（月）	山田順一郎・阪田大樹
文京区立 昭和小学校	平成 24 年 2 月 23 日（木）	佐藤潤一・富永光孝
文京区立 千駄木小学校	未定	未定

経営者の声「法人会会員アンケート調査結果」12月の景況感

法人会では、平成23年4月より毎月、会員を対象とした景況感アンケートを実施しています。昨年12月15日時点のアンケート結果をお知らせします。

～アンケート結果・概要～

① 昨年12月15日現在の景況 → 「悪い」が1%増！

良い (11.8%)
(前回比±0.0%)

どちらともいえない (47.2%)
(前回比▲1.1%)

悪い (40.9%)
(前回比+1.0%)

② 3ヶ月後の景況予測 → 「良くなる」が微増！

良くなる (12.4%)
(前回比±0.2%)

変わらない (61.3%)
(前回比▲0.3%)

悪くなる (26.2%)
(前回比+0.0%)

～法人会アンケートシステムについて～

名称：経営者の声 ～法人会アンケート調査システム～

さまざまな業種の経営者が集う法人会の規模・特性を活かし、携帯電話・パソコンで簡単に登録できるアンケートに会員が回答し、その結果を会員に還元するとともに、広く社会に提供します。

今回、法人会アンケートシステムに登録した企業経営者4,726名に対するアンケートを実施。

1. アンケート結果（12月分）

問. 12月15日時点の御社の景況（択一選択）および判断材料（複数選択）

①良い	158	11.8%	②どちらとも言えない	630	47.2%	③悪い	546	40.9%
A. 売り上げ	131	82.9%	A. 売り上げ	475	75.4%	A. 売り上げ	446	81.7%
B. 採算状況	49	31.0%	B. 採算状況	246	39.0%	B. 採算状況	214	39.2%
C. 資金繰り	28	17.7%	C. 資金繰り	97	15.4%	C. 資金繰り	114	20.9%
D. 業務時間の伸長・短縮	11	7.0%	D. 業務時間の伸長・短縮	28	4.4%	D. 業務時間の伸長・短縮	17	3.1%
E. 震災影響	9	5.7%	E. 震災影響	26	4.1%	E. 震災影響	44	8.1%
(前回)①良い	141	11.8%	(前回)②どちらとも言えない	576	48.3%	(前回)③悪い	476	39.9%

問. 3ヵ月後の景況（択一選択）および判断材料（複数選択）

①良い	166	12.4%	②変わらない	818	61.3%	③悪くなる	350	26.2%
A. 売り上げ	137	82.5%	A. 売り上げ	644	78.7%	A. 売り上げ	274	78.3%
B. 採算状況	49	29.5%	B. 採算状況	330	40.3%	B. 採算状況	147	42.0%
C. 資金繰り	18	10.8%	C. 資金繰り	122	14.9%	C. 資金繰り	87	24.9%
D. 業務時間の伸長・短縮	9	5.4%	D. 業務時間の伸長・短縮	24	2.9%	D. 業務時間の伸長・短縮	15	4.3%
E. 震災影響	12	7.2%	E. 震災影響	45	5.5%	E. 震災影響	41	11.7%
(前回)①良い	145	12.2%	(前回)②変わらない	735	61.6%	(前回)③悪くなる	313	26.2%

問. 従業員数（択一選択）

①過剰	162	12.1%	②適正	908	68.1%	③不足	264	19.8%
(前回)①過剰	152	12.7%	(前回)②適正	794	66.6%	(前回)③不足	247	20.7%

[調査対象] 法人会会員企業経営者4,726名
うち回答者1,334名(回答率28.2%)

[調査期間] 平成23年12月15日～24日

[結果コメント]

- ・12月時点の景況感は「悪い」が39.9%→40.9%に1%増え、若干の後退傾向を示しています。
- ・判断材料のうち「採算状況」が、「良い」の回答では増え、「悪い」では減っています。
- ・3ヶ月後の予測は「良くなる」が0.2%微増し、「悪くなる」は前月から増減なしです。
- ・判断材料では「売り上げ」と「採算状況」が、「良くなる」では増え、「悪くなる」では減っています。
- ・地域別に見ると、当月の景況感では北海道、東北、関東甲信越で「良い」が全国平均を上回っています。
- ・景況予測では、関東甲信越、東海・北陸、北海道で「良くなる」が全国平均を上回っています。
- ・従業員数については、「適正」の回答が6割を超え、「過剰」が微増、「不足」が微減となっています。

■問い合わせ先



公益財団法人全国法人会総連合

石曽根、小堀、佐藤

〒160-0002 東京都新宿区坂町13-4
TEL:03-3357-6681 / FAX:03-3357-6682
MAIL: mail@zenkokuhojinkai.or.jp

平成23年度 会員増強運動を終了して

組織委員長 加藤 高身

平成23年度の会員増強運動は、未曾有の大震災・津波被害・原発事故、そして欧州債務危機の経済不安、そして超円高と日本の経済も政治も先が見えない逆風の中を各ブロック長、支部長並びに多くの会員の皆様方には、公私共々ご多忙のなかにもかかわらず多大なご尽力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。また大同生命保険(株)、AIU保険、朝日信用金庫、事務局並びに他の法人会、署からも絶大なるご協力を賜りましたことを重ねて御礼申し上げます。厳しい経済環境の下、結果は50社の新規入会企業の獲得で皆様方のご協力をご感謝申し上げます。これからの組織運営で大切な退会防止策として折角ご入会頂いた新規企業を中心に過去3年以内に入会の方々とのコミュニケーションを図るため組織委員会としましては、新たな取り組みとしてプロジェクトの立ち上げを検討しております。是非新たな取り組みに皆様方のご協力お願い申し上げます。

また今回の運動期間中委員長として各ブロックや各支部の会合に参加させて頂き、会員の皆様方の活動に心打たれる想いでした。今後とも地域を共有する我々が、全員で力を合わせ活動して参りたいと思います。本郷法人会並びに会員各社の更なる発展を祈念申し上げ、御礼方々ご挨拶

とさせて頂きます。ご協力ありがとうございました。

■平成23年度 新規加入社数

平成23年12月末現在

ブロック	支部名	4月~6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	小計	前年度	合計
1B	本郷 1									1	1
	本郷 2									4	4
	本郷 3						2	1	6	2	8
	計	3					2	1	6	7	13
2B	本郷 4	1		1					2	1	3
	本郷 5	1							1	1	2
	本郷 6										
	本郷 7										
	計	2		1					3	2	5
3B	湯島 1							1	1		1
	湯島 2						1	2	3	1	4
	湯島 3	1			1			4	6	3	9
	湯島 4										
	計	1			1		1	7	10	4	14
4B	西片 1										
	西片 2										
	向丘 1										
	向丘 2										
	計										
5B	根津 1										
	根津 2									1	1
	弥生 1										
	弥生 2										
	千駄木 1										1
	千駄木 2										2
	計									4	4
6B	千駄木 3		1							1	1
	千駄木 4	1								1	1
	千駄木 5										
	本駒込 4									2	2
	本駒込 5								2	2	1
	計	1	1						2	4	4
7B	本駒込 1										1
	本駒込 2										1
	本駒込 3			1						1	1
	本駒込 6							1	1	1	2
	計			1					2	2	4
他地区	計					1	1			2	2
	小計	7	1	2	1	1	4	11	27	23	50

東京都に対して公益認定申請を行いました

第3回理事会が1月26日(木)、午後3時より文化シャッター BX ホールで開催された。理事会は松尾総務委員長の司会で始まり定数報告がされた後、利根川会長が「本郷と言う地域を共有する我々は力を合わせ知恵を出し合い法人会と言う共有財産を次世代に引き継ぎたい」をあいさつを述べた後、議事に入った。第1号議案:公益法人認定申請に伴う定款(案)等の修正について。第2号議案:上半期の正副会長・常任理事会の議事報告について。以上を川井専務理事が資料に基づき詳細な説明を行った。その後、議長

が質問を求めたところ、異議がないことを確認、引き続き部会報告・委員会報告となった。



新年賀詞交歓会の前に行われたBXホールでの理事会

平成24年新年賀詞交歓会

本郷納税貯蓄組合連合会・(社)本郷青色申告会・本郷間税会と合同で開催 新春講演会:なぜ「これ」は健康にいいのか? 順天堂大学医学部教授 小林 弘幸氏

平成24年新年賀詞交歓会が1月26日(木)、午後4時より文化シャッター BX ホールで開催された。昨年は本郷間税会との開催だったが、今年は本郷納税貯蓄組合連合会と(社)本郷青色申告会が加わり4団体合同の新年賀詞交歓会となった。司会は法人会の渡邊研修委員長が務め主催者あいさつを東村副会長が述べた後、新春講演会が開かれた。講師は順天堂大学医学部教授の小林弘幸氏 先生はなぜ、「これ」は健康にいいのか?をテーマに自律神経について交感神経と副交感神経の二つの神経がバランス良く働くことで体をベストな状態に保つことが出来と話された。引き続き、式典が法人会の松尾総務委員長の司で行われ、本郷納税貯蓄組合連合会・中山省吾会長／(社)本郷青色申告会・松本正会長／本郷間税会・小能大介会長／(社)本郷法人会を代表して本会の利根川会長が「この本郷を地域として、何が出来るかを考え直すべき時期である。本郷という土地を共有している我々はこれを将来に繋げる役目があると思います。次の世代にしっかりと伝えるためには税が基本です。今年も各団体長としっかりと協力し合い邁進して参りたい」と力強くあいさつを述べた。その後、場所

を移して懇親会が本郷間税会の小能大介会長の司会で始まり、祝電披露や来賓紹介が行われ終始和やかな雰囲気の中、午後8時(社)本郷青色申告会の松本正会長が中締めを行った。



あいさつをする利根川会長(正面右が岡田税務署長と山宮都税事務所長(正面左が中山会長・松本会長・小能会長)



順天堂大学医学部教授 小林弘幸氏

「失敗する投資、成功する投資の分かれ目は」

—大事なのは金儲けより人との絆—

経済評論家・作家 荒 和 雄

■ 欧州発の金融危機は当分続くか

ギリシャの財政危機を受け、ユーロ圏を中心とした金融危機が続いている。ギリシャ国債を多量に引き受けているヨーロッパ主要国の金融機関は経営破綻や危機に陥り、世界は金融危機と不況の長期化に不安を募らせている。

一方、米国ではウォール街などで、経済格差是正を求めたデモが吹き荒れている。1%の金融で儲けた富裕層よりも、99%の人たちを救えという主張だ。その背景には失業者の増加に対する社会の不安がある。

■ グローバル時代の弊害は経済格差より社会格差へ移行

リーマン・ショックが起きてから、各国政府は、景気回復のため巨額の財政資金を投入した。一方、有力な格付け機関は、財政悪化した国を標的にし、国債の格付けの見直しを行った。その結果、国債は下落し、国債を保有する各国の金融機関の経営を直撃した。米国では公的資金を投入して金融機関の一部を破綻から救出したが、皮肉なことに、今回のヨーロッパの金融危機でも、同じことが繰り返される懸念が出ている。公的資金の投入が、さらに各国の財政をも圧迫するという図式だ。

■ 日本の国債は大丈夫？

一方、日本は、円が著しく高くなり、輸出産業は大痛手を受け、雇用の不安が増大している。日本の国債発行残高は膨大な額にのぼっているが、国債の引き受けの大半が日本国内、なかでも金融機関が保有しているので、安全であるという見方も今まではあった。だが、一部の投資家グループが有力格付け機関と組んで、いつ、円の暴落を仕掛けてくるかわからない。グローバル化の時代の恐ろしさだ。

それを防ぐには、早めに財政危機を脱するための政治改革、行政改革が不可欠である。国会議員、高級官僚らが自らの高給を抑制するなどして、歳出抑制の先兵たる役割を果たす必要がある。経済格差を社会格差に発展させないことが肝要だ。

■ 超低金利政策の継続で、日本の投資マネーは新興国ファンドに大量に流出

リーマン・ショック以降、米国やヨーロッパ諸国は、超低金利政策をはじめとする大胆な金融緩和を実行し、一時的に不況から脱出した。各国ともリーマン・ショックから立ち直り、成長力を回復させた。ブラジル、インド、南アフリカ等の新興国の成長に向けて、資金が活発に動いた。

一方、日本は、大胆な金融緩和ができず、デフレに陥ったままになっている。

こうしたなかで、日本の投資家は、超低金利政策の中で、少しでも利回りの良い海外投資を求めて、外国株や外国債券の投資信託にカネを投入した。とくに、将来の年金受給額低下への不安から、毎月、分配金が支払われる分配型投資信託に人気が集まった。

その最たるものは、新興国の国債自体を引き受ける分配型の投資信託である新興国ファンドだ。

■ 投資信託の内容、中身をもう一度分析、再点検しよう

世界的な金融危機が発生するリスクに備えて、この際、会社も個人も自分の財産に関して再点検し、その投資の是非を判断し、ケースによっては損切り処分する必要も出てきそうだ。

投資信託とは、大勢の投資者から集めた資金を、運用を信託された会社が株式や債券などに投資して、その運用益を投資家に分配する金融商品である。この投資信託を販売する証券会社や銀行

は、販売にあたって、投資家に、①投資の中身、言い換えると日本国内のものか、外国のものか、②債券中心か、株式中心か、③単位型か、追加型か一等を含めて、きちんと説明する義務がある。その結果として、証券会社や銀行は事務取扱手数料、年毎の信託報酬などをもらえる仕組みなのだ。

このように投資信託利用者にハイリスク、ハイリターンの金融商品であることを納得してもらい、加入をすすめているが、実際には相当、問題がある。

多くの金融機関では、投資家に対し、月毎に月次報告書と称して、投資専門会社の分厚い運用実績を送付し、資産内容を説明しているが、利用者にとって重要である肝心の「負の情報」などに関しては、十分に行っていないのが現状である。

分配型投信などはこれまでの投資効果を毎月点検したい

分配型投資信託では、毎月銀行口座に振り込まれる分配金にのみ目を奪われ、肝心の投資効果については、無関心な人も多い。そこで大事な方程式を自ら作成する必要がある。

購入時の取得価格－（時価、分配金などの累計）＝差し引きプラスかマイナスかどうかをきちんと見極めたい。大幅なマイナスであれば、その原因が基準価格といわれる時価（日経などが公表）の下落によるものであるかを、金融機関の担当者から聞き出すことが大事だ。多くの金融機関では、運用に関して毎年、信託報酬という名の手数料を0.3%～1%とっているが、信託の名にそむいて、時価が暴落してもきちんと説明してくれるところは少ない。

金融機関の担当者は、加入の時のみ熱心で、直接「負の情報」を購入者に伝える人は少ない。こうした負の情報をきちんと伝える人が信頼のできる金融マンである。

投資信託などは、いずれも回転率の商売、「売った」「買った」の手数料収入が目的。しかし、利用

者にとっては購入した後のフォローができるかどうかポイントである。この見極めが大事である。

そして年末年始、あるいは年度末を迎えるにあたっては、こうした投資信託などの資産の中身を調査し、再投資するか処分するかを決めることが大切だ。

この一年、東日本大震災や原発事故を受けた国民の一人一人は、金よりも人と人との絆、特に家族や地域とのつながりの強さ（絆）の大切さを自覚した。金の運用も大事だが、もっと大切なのは、人と人との絆づくり、これを基準に考えるのも本当の意味の投資の成功、失敗の分かれ目といえよう。

■筆者紹介



荒 和雄（あら・かずお）

早稲田大学法学部卒。東京都民銀行支店長などを経て独立。経済評論家・作家として講演やテレビのコメンテーターなどで幅広く活躍。金融経済・中小企業経営関係の著書は「日本縦断2000回の旅 ちよっといい話」（中経出版）。最近の著は挑戦する若き金融マンを描いた経済小説「白い狼」。著書は161冊を超える。公式HPは <http://www.arakazuo.com>

編集後記

この3月号会報が皆様のところへ届く頃には当会もめでたく公益社団法人の認定書が交付されている頃と思います。今後、法人会に期待されることは非常に大きいと認識しております。これからは更に公益的事業を増やし充実した研修内容にしたいと思っております。また、今年の新規研修事業は文京学院大学 文京学院短期大学 生涯学習センターの全面的なご協力を得て二つの新規事業を立ち上げました。今回同封しました案内書をご覧ください一人でも多くのご参加をお待ちしております。今後ともお気付きの点がございましたらご連絡くださるようお願い申し上げます。（研修委員長 渡邊 記）

社団法人本郷法人会 インターネットセミナーのご案内

本郷法人会のホームページから無料でセミナーがご覧いただけます
<http://www.hongohojin.or.jp/>

本郷法人会 検索で検索いただけます



無料

会員は専用IDとパスワードを入れてログインする事により多くのコンテンツが視聴可能となります。

※画面はイメージとなります。

ID・パスワードは

会員 ID: 0119

パスワード: 0595

会員の方は100 タイトル以上のセミナーが無料で受講できます



平清盛に学ぶ栄える会社、減びる会社、3つの違い



戦国マーケティング株式会社 代表取締役 福永 雅文



ムリせず、ウソをつかず、1億売れた!! 「営業トーク」



有限会社 日本7i・オー・シー 代表取締役 藤富 雅則



女性管理者の基礎知識



株式会社キャラウィット 代表取締役 上岡 実弥子

	セミナー名	講師	コンテンツ		セミナー名	講師	コンテンツ
社員研修	★平清盛、その成功と失敗	福永 雅文	60 分	経営一般	江戸しぐさに学ぶ「中小企業経営」(前編)	柴田 光榮	30 分
	「聴き上手」で商売繁盛	藤崎 ひろみ	40 分		必ず成功する事業承継 12 の法則	二条 彪	15 分×12 本
	「A4」1枚アンケートで利益を5倍にする方法	岡本 達彦	50 分		社員にとってのやりがいとは何か	鈴木 達雄	90 分
	就業規則の運用実務ポイント(採用から退職まで)	蒔田 照幸	90 分		ディスニーストアで学んだ感動の販売促進術	加賀屋 克美	40 分
	★クレーム対応の巧拙が企業生命を左右する	部奈 壮一	57 分		最新! 貸倒れ対策セミナー	木崎 海洋	96 分
	実践から学ぶオンリーワン経営	佐藤 勝人	45 分		中小が大手に負けなためにやるべきこと	山口 勉	90 分
	0円集客で新たな売上げをつくる!	谷田貝 孝一	31 分		★戦国武将たちに学ぶ事業承継成功の秘訣	藤永 悟志	97 分
	★社長のハラハラこれで解決!	各講師	5分×17本		事業承継	松崎 菊也	15 分
	ビジネスシーンもマナーでアピール	自覚 真由美	3分×10本		中小企業の税務調査	村野 俊輔	54 分
	給料の抜本見直し講座(1)	蒔田 照幸	29 分		無理なく痩せてメタボリック対策を	河口哲也	80 分
政治・経済	実践! 営業の“4カ”強化講座	西村 文彦	30分×4本	健康・高齢者・文化	活かせ! 風水(商店編)	小澤 邦博	3分×15本
	SOD パソコン講座 パワーポイント講座	鈴木 美香	20 分		風呂敷が包むもの	林 佳恵	3分×5本
	拉致問題はなぜ進展しないのか	蓮池 透	90 分		ちょっと得するワイン学	昆野 りか	30 分
	チベット騒乱と中国	ベマ・ギャルボ	90 分		新・職場のメンタルヘルス①	HEAD 映像事業部	20 分×1本
	新興国ブラジルの可能性を探る	太田 泰義	90 分		HEAD 映像事業部	26 分	

掲載講師やタイトルは変更になる場合がございます。

(★印は一般の方もご覧いただけます。掲載されているタイトルは、ご覧いただけるものの一部です)

お問い合わせは本郷法人会事務局 IT 委員会まで

TEL: 03-3812-0595



古紙配合率100%再生紙を使用しています。

